

## 【総 評】

鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者の選定に当たり、応募のあった川喜多・KBSグループに対し、提案書類の審査とヒアリングを実施した。審査の結果、川喜多・KBSグループを次期指定管理者候補者として選定した。その結果について次のとおり総評する。

川喜多・KBSグループの代表団体である公益財団法人川喜多記念映画文化財団は、平成22年4月の記念館開館時より、2期9年半にわたり、企画展ごとのテーマに沿った映画関連資料の展示及びこれに関連した作品上映を行う国内でも数少ない文化施設の指定管理者として選定され、堅実に業務を遂行してきた。

提出された提案書については、これまで培ってきたノウハウを踏まえた事業をベースとしながら、財団が有する映画文化関連資料を活用した提案内容となっており、手堅い内容と言えよう。さらにアウトリーチ活動の展開など、幅広い年齢層や外国人にも利用者層の間口を広げようとする提案は、ソーシャル・インクルージョンの観点からも評価できる内容であった。

以上により、鎌倉における映画の意義を深く掘り下げ、事業を展開することが期待できる内容であることが確認できた。また、記念館運営に必要な人材やノウハウが一定程度蓄積され、次の5年間の管理運営を任せるに足る能力を有する団体であることが認められた。